

LPガス国際セミナー2011報告

エルピーガス振興センターは、下記のとおり、新橋第一ホテルにて『国際セミナー2011』を開催しました。

記

- 日 時 : 平成23年2月24日(木)～25日(金)
 - テーマ : 低炭素社会の実現に向けたLPガスの役割と競争力
 - 招聘先等: 国内2機関、海外11機関
 - 参加者 : 約515名
 - 内 容 : 基調講演、国内・海外招聘者の講演、個別&総括質疑応答
- 以上

《概 要》

本セミナーでは、著名なコンサルタント会社であるパーヴィン・アンド・ガーツによる欧米及びアジア市場のLPガス需給動向及びシェールガス開発状況等に関する基調演説、経済産業省による日本のLPガス政策に関する講演、及び日本LPガス協会によるLPガスが築く低炭素社会に関する講演、またLPガスの産出国や消費国等からはLPガス需給動向の講演等、13講演を行いました。



なお、LPガス産出国からはサウジアラビア、カタール、及びイランが、アジアの主要LPガス消費国からはインド、中国、韓国、及びタイが、並びに石化関連としてコンサルタント会社のCMAIに、海運会社のBWグループ、及び世界LPガス協会が講演者として参加しました。本セミナーにおいては、講演毎の質疑及び全講演終了後の総括質疑を実施し、世界各国から参加するLPガスの主要産出国、消費国、及び関連国際機関との間で、我が国を含め各国が抱えている様々な課題が提起され討議されました。



《主な講演内容》 海外のみ

○基調講演米国【パーヴィン&ガーツ】

- ①2011年のLPG供給は急拡大し、リーマンショック世界不況による閉塞感は緩和される。
- ②供給増加は世界経済と鍵の地域経済に左右され、クリーンエネルギーと発展途上国が新市場となる。
- ③石化向けLPG原料市場へ供給増となり、ここ数年、世界数地域で消費が拡大する。
- ④シェールガス増産でNGが低廉化し、随伴LPG復活への誘因となっている。

○韓国【韓国LPG協会】

- ① 2010年のLPG需要は9.16MT, プロパン3.70MT, ブタン5.46MT 対2009年でC3増加、C4減少、全体で減少した。同輸入量は、6.01MT 中東輸入元は、カタール、UAE, サウジの順。
- ②都市ガス増熱用と石化原料に市場拡大を期待する一方、オートガスには危機感を感じてい

る。

- ③国の政策としてDME実用化に取り組んでおり、400世帯でDME混合LPGの消費者テストを実施中。

○カタール【タスウィーク】

- ①輸出量2010年800万トン、2012年1100万トン、2015年1200万トンを見込んでいる。
- ②世界の需要は2020年に3億トンを見込んでいる。
- ③WLPGA2011のホストである。

○中国【広東石油ガス商会】

- ①2010年、需要2340万トン、生産(製油所)2110万トン、輸入320万トン、輸出100万トン。
- ②都市ガスは、今後5年の伸び率は20%/年でLPGの脅威となっている。
- ③DMEは、大幅な過剰生産である。

○シンガポール【BWグループ】

- ①世界は低炭素化に向けクリーンエネルギーLPG拡大が必須であり、海上輸送で2015年8000万トンを見込んでいる。
- ②VLGC市場はリーマンショック以降依然厳しいが、好転の兆しは見えている。

○インド【インド石油公社】

- ①2009年需要12.7百万トン、生産10.2百万トン、輸入2.5百万トン。
- ②世界第2の容器販売マーケット。1.1億世帯が容器を使う。消費者1億2千万世帯、農村部中心に毎年1千万人の割で増加する。
- ③補助制度があり、AADHAARという個人認証制度で制度の悪用を防止している。

○イラン【NIOC】

- ①石油と天然ガスで3120億bdの資源大国である。
- ②2010年LPG生産7.66百万トン 製油所1.8百万トン、石化プラント3.66百万トン、NIOC(フェーズ1-10)2.2百万トン
- ③2010年輸出4.46百万トン 輸出先中国35%日本19%インドネシア15%韓国8%台湾5%インド5%マレーシア4%豪4%

○サウジアラビア【サウジアラムコ社】

- ①国際セミナーは日本サウジセミナーとして発足した。
- ②CPの16年半の回顧。
- ③サウジと日本の連携。顧客志向、救援志向の活動に重点を置く。

○シンガポール【CMAI】

- ①2010年エチレン生産1.11億トン(ナフサ50% LPG12%)市場は堅調である。
- ②中東の新設備全体に稼働問題があるが解決されよう。
- ③サウジのエタンは全割当。イランの稼働率には課題が残る。カタールのプロジェクトはエタンを基本とするが、長期にはLPG混合エタンとなろう。UAEのナフサを基本とするプロジェクトは発展に四苦八苦である。

○フランス【WLPGA】

- ①低炭素社会実現に貢献するブランド2つ:WLPGAブランドとLPG EXCEPTIONAL ENERGYブランド世界LPG業界を代表するWLPGAの活動の紹介。

- ②調理の煙で世界160万人が死に、中国では室内の空気汚染で60万人が死んでいる現実を変えるため、低炭素化推進のための啓蒙、普及、教育活動の紹介。

○タイ【PTT】

- ① 2010年需要 5.5MT、生産 3.9MT(製油所 1.3MT ガス処理 2.6MT)、輸入 1.6MT。
②LPG 価格は管理されており CP と製油所出荷価格との差が補助される。
③LPG の不均衡がある。管理価格による需要増 石化需要増 オートガス需要増 製造輸入インフラの限界。

皆様のご支援をもちまして、本セミナーを恙無く・成功裡に開催することができました。本セミナーにご尽力頂きました関係者各位に感謝いたします。

※ なお、次回の「LPガス国際セミナー2012」は、平成24年2月23日～24日にて、新橋第一ホテルで開催の予定です。

(調査研究部)